



YNU Connect A community for alumni, students, faculty, staff and friends of Yokohama National University

横浜国立大学 校友会 会報

vol.08

校友会会報誌「ALL YNU」第8号

横浜で学び、
横浜から飛び立つ



新しい視点から行動し、 学生の皆さんを応援いたします！

宮田芳文 横浜国立大学校友会 会長

新型コロナの影響から、生活に困窮した学生や留学のため日本への入国に困っている留学生の皆さんに、YNU校友会では、全ての同窓会と協力し、「横浜国立大学緊急学生支援事業」への寄付を通じ、大学からの要望に応じて経済的な支援を実施してまいりました。

また産業界では、数多くの先輩が活躍しています。「横浜経営者の会」をはじめ産業界の一流の皆さんの講

義や交流をはじめとして、学生の皆さんが、社会で活躍出来るように様々な企画・活動を通じて貢献していきたいと思っております。

YNU校友会は、大学が目指す、「世界水準の研究大学の実現」に向けた研究や活動へ産業界と連携することでどのような貢献が出来るか、検討しております。同窓会と連携し今までにない新しい動きを作っていきたいと考えております。



MIYATA Yoshifumi

福岡県出身、1978年横浜国立大学経済学部卒業、2009年第一生命保険株式会社常務執行役員、2012年資産管理サービス信託銀行代表取締役副社長就任、2018年退任、2018年ウェルネスコミュニケーションズ社外取締役、2021年持田製薬社外監査役



UMEHARA Izuru

1962年生まれ。1987年富山大学理学部卒業、1989年富山大学大学院理学研究科修士課程修了、1992年筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。2000年横浜国立大学工学部助教授、2009年横浜国立大学大学院工学研究科教授、2019年横浜国立大学理事・副学長、2021年横浜国立大学学長

台風科学技術研究センターとユネスコチェア

梅原 出 横浜国立大学 学長

校友会におかれましては、様々な活動を通して学生への支援を賜り感謝申し上げます。さて、2021年10月1日、横浜国立大学に日本で初めての総合的台風研究のセンターである台風科学技術研究センターが設置され、2022年にはセンター長である筆保教授が国家事業であるムーンショット計画のPMに採用されました。ま

た、2022年から本学はMan and Biosphereを実践する大学として、ユネスコチェアに採択されています。どちらの取り組みも世界水準であることを標榜する本学の取り組みの典型であると思います。今後も本学は特徴ある取り組みを展開してまいりますのでご支援賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

横浜国立大学基金 ご寄附のお願い

卒業生・保護者の皆様からのご支援が、本学を通じ地域と世界の未来を創ります。あたたかなご寄附をよろしくお願いいたします。

横浜国立大学基金では、ご寄附をもとに以下のような支援を行っております。

- コロナ禍時代の学生支援
- 経済的理由により修学困難な学生への奨学金
- 若手研究者への研究支援
- 学生の国際交流促進、留学生への支援
- 課外活動への支援など



お問い合わせ先
横浜国立大学
卒業生・基金室

TEL : 045-339-4443
FAX : 045-339-3034
E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp
<https://kikin.ynu.jp>



スマートフォンからも
詳細をご覧ください。

- 2 校友会会長・学長 メッセージ
- 4 コロナ禍の学生生活の楽しみ方
- 6 校友会活動のご紹介

【学生支援】

地域連携シンポジウム
—地域実践アワード・次世代の横浜・
神奈川地域像を素描するvol.1—



キャリア教育

キャリアサポの紹介

【就職活動支援】

「OB・OGによる
マスコミ業界向け
就活相談会」

「OB・OGによる
模擬面接会」

「横浜経営者の会による
模擬面接会」

キャリア・
アドバイザーの派遣

8 YNU卒業生からのメッセージ
～コロナ禍をどう乗り切ればいいのか～

- 高瀬 優香さん(株式会社メンバーズ)
- 平松 理生さん(野村総合研究所)
- 宮村 麻美さん(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)
- 平田 穂高さん(本田技術研究所)
- 湯山 由佳さん(共同通信社)



10 部活動・サークル等紹介

- ・アカペラサークルStairways
- ・弓道部
- ・アメリカンフットボール部



11 校友会からのご報告 令和3年度活動・決算報告／校友会総会のお知らせ

12 WEB会員登録／ホームページのお知らせ

校友会学生幹事会 Seagulls の活動

学生の、学生による、学生のための組織

多くの学生は学部・サークル内の関わりが中心となっています。しかし学生と本学のさらなる成長のためには、学部や社会人といった壁を越えた、学生による主体的な交流が必要となります。そこで「学生の、学生による、学生のための組織」として学生幹事会 Seagulls が2016年3月に立ち上がりました。Seagulls

では、「新入生歓迎会」「OB・OGとの交流会」の企画・運営を学生主体で行っており、学部を超えた交流とYNUのブランドアップを目指し活動しております。コロナ禍の現在でもミーティングを行い何か出来ないと試行錯誤しております。

既存企画の改善や新規企画の発案など、YNUをよりよくしたいと

幹事募集中!!

Seagullsでは校友会の活動と一緒にサポートする学生幹事を募集しています。幹事一同大歓迎ですので、ご連絡お待ちしております。

連絡先 MAIL : koyukai@ynu.ac.jp
電話 : 045-339-3177

熱い思いを持った学生たちがアウトプットできる場所が Seagulls にはあります。これを読んだあなたも我々と一緒に YNU を改革しませんか？

コロナ禍の学生生活の楽しみ方

横浜国立大学では、感染防止策を講じて学内の安全・安心な環境を整えた上で、可能な限り対面授業を実施しています。また、対面で実施することが困難な科目等は、遠隔との併用などにより実施しています。在学生の多くは、コロナ禍でもそれぞれの工夫で学生生活を楽しんでいます。

新型コロナウイルス関連の本学独自の学生支援（令和4年度）

● コロナ禍時代の学生応援寄附金

- ・ 海外から入国する学生 への移動支援
- ・ 新型コロナウイルス陽性者（自宅療養者）への食糧支援

● 特別授業料免除制度

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した世帯の学生に対する支援

友人とジョギングに汗

教育学部4年 宮澤 歩 MIYAZAWA Ayumi

私がコロナ禍で見つけた楽しみは、ジョギングです。コロナウイルス蔓延に伴い、所属していた陸上競技部の活動が休止になってしまった時期を見つけました。ジョギングは、人と会わない早朝5時から行い、和田町にある家から「みなとみらい」の観覧車まで走ります。コロナ禍で外出機会が減り、体重増加してしまったことがきっかけ

ですが、段々とタイムを気にするようになってからは夢中になり、今では趣味になりました。コロナの制限が緩和されるにつれ、ジョギングに大学のチームメイトを誘い、共に汗を流しています。

コロナ禍で友人と会えない日々はとても寂しかったのですが、このように趣味が増えるなど自分の目標を設定、達成を繰り返すことで、



コロナ禍でも楽しみながら毎日を過ごすよう努力しています。

オンライン活用で就活乗り切り

経済学部4年 猶原 彬 NAOHARA Akira

コロナ禍で特に印象に残っているのが、3年の7月ごろから始めた就活です。対面での説明会や面接がなくなり、オンラインが大半になりました。慣れない環境で最初はとても不安でした。しかし、周りの人とLINEなどでインターンの情報や面接のコツなどを共有し、たくさんコミュニケーションを取

りながら就活を進めました。お互いに情報交換をすることで不安を打ち消し合うことができ、モチベーション維持にもつながりました。一方、オンライン実施になったことで就活イベントには参加しやすくなり、1日で3、4社の説明会を聞くなど、短い時間でたくさんの情報を得ることができました。



このように、オンラインの「良い面」「悪い面」を理解し、臨んだ結果、第一志望業界であった商社から内定をいただきました。その経験から、自分が置かれた状況を素早く把握し、柔軟に対応する大切さを学びました。

アカペラ・ライブにやりがい

経営学部4年 丹野 恒心 TANNO Koushin

アカペラサークルではコロナ禍の今、マスクを着け、大学学食での無観客ライブを年4回、外部ホールでの有観客ライブを年1回のペースで開いています。特に有観客ライブではステージに同時に立てる人数など演出の根幹に影響するような事柄が変化することもあり得ます。それを念頭に、様々な状況を想定して準備を進めなければな

らない難しさがあります。それでも有観客ライブを見に来てくれた友人は誰もがみな、とても満足してくれ、やりがいを感じました。

また、コロナ禍だからこそ取り組んだのが資格取得です。1人で過ごす時間が増えたため、「将来への投資」と思って取り組み、TOEIC890点、基本技術者試験、ビジネス会計検定2級を取得しまし



た。中でも1番力を入れたTOEICでは、当初600点程度だったレベルから一気に約300点上がり、結果が届いた時はうれしかったです。

念願のバイクでシカの群れと並走

理工学部4年 八田 裕貴 HATTA Yuki

コロナ禍で友人と会う機会が減り、時間を持て余し、以前からあこがれていたバイクの免許取得に挑戦しました。教習所に通いつつ、多いときは3カ所のバイトを掛け持ちしバイク代を稼ぎました。そんな生活を3ヶ月ほど続け、やっとの思いでホンダの「ホーネット」というバイクを手に入れました。免許が取れた後は、友人と北海道一

周旅に出ました。

道中、ゲリラ豪雨に見舞われたり、ぬかるみで転んでペダルがひしゃげたりトラブル続きでしたが、一切苦ではありませんでした。特に印象に残っているのは襟裳岬から苫小牧へ向かう途中、道路わきの平原にいたシカの群れが私たちのバイクに並走してきたことです。仲間として迎え入れてくれたかの



ような感覚になりました。知床の「カムイワッカの滝」には砂利道を10キロ以上進んだ先に温泉が流れていました。コロナ禍でも新たなチャレンジで充実した日々を過ごせると実感できました。



島根の「離島留学」で気づいたこと

都市科学部4年 名取 彩雲 NATORI Ayamo

コロナ禍で人間の「孤独」が目が向いた私は、都市科学部の教員から教えていただいた「答えは現場にある」という言葉がずっと心に引っかかっていました。そこで、学生最後の年は、島根県・海士町の教

育委員会でインターンをする「離島留学」中です。「孤独」はないです、と言われて来た海士町。平日の仕事終わりは、毎日のように島の方に誘われて懇親会へ行ったり、公民館で卓球をしたり…。休日は青空マーケットに行ったり、畑仕事を手伝いに行ったり…。そのうち道行く人やお店の店員さんまでみんな顔見知りになり、確かにひと

りぼっちにはなりません。一方で、島に来たばかりの私が気軽に本音を吐き出せる場所は「自分の心にしかない」と気づきました。これが知り合いだらけの島ならではの「孤独」かな、と思っています。都会しか知らず育った私には、全く違う国に来たような日常で、やはり「答えは現場にある」のだと実感しています。

学生支援

地域連携シンポジウム

—地域実践アワード・次世代の横浜・神奈川地域像を素描するvol.1—






2021年度の地域連携シンポジウムは、2022年2月16日(水)にYouTubeライブで開催しました。第1部の地域実践アワードでは地域課題実習の活動発表を行い、投票の結果「はまみらいプロジェクト」と「アグリッジプロジェクト」がMVP賞に選ばれました。第2部では「次世代の横浜・神奈川地域像を素描するvol.1」と題して、大学院副専攻プログラム「地域造像論」のグループワークを踏まえて、パネルディスカッションが展開されました。



キャリア教育

(横浜経営者の会、同窓会が協力)

キャリア教育、グローバル人材育成、学部横断的講演会を通じて、ALL YNUの力で学生を社会へ、世界へ。

1年次	ビジネスの基本を体感する	まなび座 自分たちで問題を見つけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛えます	
全学年	貴重な体験談等からグローバル世界への対応の基礎を学ぶ	グローバル化と日本人 海外勤務経験者もゲスト講師に、異文化理解とコミュニケーションを学ぶ	
2年次以上	トップ経営者による講義	グローバルビジネス実践論 主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる実践講義	
全学年	早くから広く社会を知る	経営者が語る これからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ トップ経営者が学生に直接、企業経営について語る貴重な機会	  <p>山崎 直子氏 上野 千鶴子氏</p>
		5学部と校友会共催の講演会 視野を拡げ世界を鳥瞰し、将来の進路や人生を考える参考に 教育学部：令和3年10月4日(月)オンラインにて開催 講師 宇宙飛行士 山崎 直子氏 テーマ 宇宙、人、夢をつなぐ 都市科学部：令和4年1月19日(水)オンラインにて開催 講師 社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長 上野 千鶴子氏 テーマ 近代家族と住宅の変貌：都市・コミュニティ・環境	

キャリア・サポートルームの紹介

きめ細やかなキャリア・就職支援

キャリア・サポートルームでは、会社案内、求人票、会社四季報など就職に関する刊行物、日本経済新聞、ビジネス誌などを取りそろえています。また、インターンシップ情報、OB・OG名簿の閲覧、公務員関係資料なども収集できます。さらに、キャリア・アドバイザーによる就職相談(予約制)も行っていますので、就職活動で悩んでいることがあったら、気軽にお立ち寄りください。

まずは
キャリア・サポート
ルームへ
お越しください!



- 就職サポート内容 (上記の他に)
- 就職支援行事の開催
 - 先輩方の進路状況の閲覧
 - 学外就職イベント情報の入手
 - アプリ、Twitterでの情報発信



就活アプリ iPhoneの方



就活アプリ Androidの方



Twitter





朝日放送記者
佐藤江里子氏



就職活動支援

OB・OGによるマスコミ業界向け就活相談会

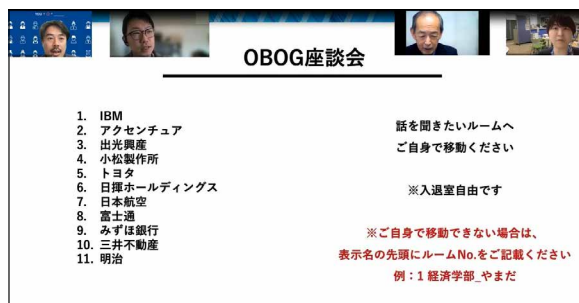
2021年7月30日(金)にオンラインによる就活相談会が開催されました。学生の参加は約50名。本学卒業生の朝日放送記者、佐藤江里子氏と時事通信社記者、山本舜也氏が、マスコミ業界最前線の仕事内容や自らの就活体験を振り返り、面接がうまく行かなかった際の立て直し方や現在の会社を選んだ動機など、後輩向けの丁寧なアドバイスもいただきました。質疑では多数の学生から熱心な質問が相次ぎました。

時事通信社記者 山本舜也氏

OB・OGによる模擬面接会開催

(校友会・同窓会・大学オンライン共催)

本年も学生就活支援の為に模擬面接会(7回目)が2022年1月22日(土)に開催されました。学生45名・面接官30名が参加し10のブレイクアウトルームに分かれ、面接官3名・学生5名で集団面接を行いました。オンラインでの参加は学生にとっても既に経験があるため、自己PRが上手な学生も多かったようです。フィードバックでは面接官へ積極的な質問が多く出ていました。面接経験が初めてで不安な表情の学生も面接の回数を重ねて皆さん自信を深めたようです。面接終了後に面接官と学生のフリートークがあり有意義な交流ができました。



横浜経営者の会による 模擬面接会

2021年12月17日(金)に「YNU横浜経営者の会」と横浜国立大学及び校友会の共催で対面での模擬面接会を実施しました。

午前の部・午後の部の2回開催され、YNU横浜経営者の会からは13社が参加し、学生の参加は23名ありました。

終了後の学生へのアンケート結果では、「満足」との評価を得ました。ご協力いただきました横浜経営者の会に深く感謝いたします。



キャリア・アドバイザーの派遣

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 現在WEBと対面の両方にて実施

同窓会は、就活支援のために各業種で採用・営業・企画など経験豊富なOB・OGをキャリア・アドバイザーとして大学に派遣しています。

個別就職相談は、1回45分、1対1で学生の相談にのり、年間を通して様々なアドバイスや面接指導、エントリーシートの添削を行っています。



～コロナ禍をどう乗り切ればいいのか～

コロナ禍で本学卒業生の仕事や業務にも大きな影響がありました。各界で活躍する卒業生のみなさんから、大学時代の思い出や働き方の変化、後輩へのアドバイスなどを寄せてもらいました。

とらえ方次第で良し悪しは変えられる

私 自身も大学3年時はコロナ禍真っ只中でした。当時はモダンダンス部で部長を務めていましたが、コロナの感染拡大を受け、部の目標だった全国大会が中止となり、大学での活動は制限され、自宅からzoomで部活運営を行なう日々でした。

遠隔でダンスを踊るやりにくさを感じながらも、オンラインだからこそ、遠方の先生からレッスンの指導をいただけるメリットもありました。就職活動も同様に、初めての就活に加えてコロナ禍という不慣れな状況に当初は戸惑いを覚えました。徐々

にリモート就活だからこそその利点を見つけました。時間・場所の制限なく、たくさんの企業説明会に参加できたり、移動時間が浮いた分、面接練習に当てたり…。些細な事ですがコロナ禍も「悪いことばかりではない」と前向きな気持ちになる事ができました。

後輩のみなさんも、就活だけでなく、学業、部活動、サークル、アルバイトなど様々な場面で悩まれる事があるかと思います。しかし、どんな状況でも、自分のとらえ方次第で良し悪しは変えられると信じて頑張ってください。



株式会社メンバーズ

高瀬 優香さん

TAKASA Yuka

教育学部 学校教育課程保健体育専攻
2022年卒。株式会社「メンバーズ」で企業のデジタルマーケティングを支援しています。

コロナ禍を「福」に転じた経験、アピールを

コ ロナ禍により世の中は大きく2つの変化があったと考えます。一つは通学・通勤という移動時間が無くなったことによる「可処分時間」の増加です。この時間を趣味やアルバイト、家庭サービスなどに使えるようになり、生活の満足度が上がったことです。

もう一つは、改めて人と人が、対面で物理的に空間を共有することの大切さを考えさせられたことです。

特に新入生や新社会人など新たな環境での生活をスタートした人たちは、いきなり非対面、リモートでのコミュニケーションを余儀なくされ、

雑談や部活動などもできず孤立する状況もあったと思います。

コロナ禍の変化をそのように捉え、対面・非対面の使い分け、時間・空間の使い方を上手にすることで、大学・社会人生活をより充実したものにできると考えます。

就職活動においては、学業はもちろんですが、人となりを見るうえで学外の活動についても関心を持たれると思います。変化を迫られる中、自分でどう工夫し選択肢を増やしたか、コロナ禍を「福」に転じた学生時代をアピールできるよう心掛けてください。



野村総合研究所

平松 理生さん

HIRAMATSU MICHIO

経済学部 1988年卒。同研究所証券ソリューション事業本部統括部長。
二女も都市科学部4年生で、親子二代にわたりお世話になっています。

オンラインでも、根本は変わらない

大学時代の就活は、迷路のような東京の地理(特に新宿駅)に疲れ果てました。面接前で、何を話そうかと移動中に復習しようにも、乗換が気になって集中しにくかったです。それだけに、どこからでも、必要なだけ参加できるオンラインの特性は、色々な会社を知れ、しかもギリギリまで準備ができるという点がメリットだと思います。

コロナ禍で私の仕事もデジタル化・リモート化が進んでいます。アフターコロナでもこの傾向は変わらないと思

います。

私は対面でもオンラインでも、結局、人に意見を伝える根本はあまり変わらないと感じています。自分の話を聞けば、相手にとってどんなメリットがあるのかなどを最初に端的に訴え(トリガー)、その後話題を深めていくという点はオンラインでの対話の方が顕著だと思います。対面だと、ジェスチャーや声のトーン、目線などが占める割合も高いと感じます。また、対面は空気を読んで話題を柔軟に変えられますが、オンラインだと、なんとなく一人の発言が終わるまで待つ空気

を感じたことがないでしょうか。十分に準備した内容をしゃべり切るには絶好の場だと思います。物は考え様ですね。



ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
宮村 麻美さん
MIYAMURA Asami

経営学部2015年卒。医療機器の事業部で2年前まで営業、今は自社イベントのサポートをしています。

リモートの経験は即戦力に

私の就活は2020年の年頭から6月ごろまででした。コロナ禍で世界が混沌とする時期と重なります。就活の前半は従来通りの対面形式でしたが、後半はすべてオンラインに切り替わり、最終面接もリモートでした。リモートでの就職活動は、初め対面形式との差に戸惑い、不慣れたツールによる失敗や、画面越しの相手に言葉だけで想いを伝える難しさを感じました。しかし、友人とオンラインで面接練習するなどして乗り切ることができました。

大学には先生方、友人、先輩など、頼れる仲間がたくさんいます。コロナ禍の先行きはまだ不透明の中での就職活動で不安も多いかもしれませんが、困ったときは相談し、励まし合えば乗り越えられます。

職場ではリモート主体の働き方から、出社を基本としながらも会議などはリモートを活用する、両者が融合した働き方になってきています。大学時代、リモート環境を経験された学生の皆さんは、他のどの世代よりもデジタルツールを使いこなすことができると思いま

す。その経験は、デジタル化が進む職場で即戦力となるはずですよ。



本田技術研究所
平田 穂高さん HIRATA Hotaka

理工学部2019年卒。理工学府機械・材料・海洋系専攻2021年修了。本田技術研究所入社後、先進技術研究所で生産技術開発に携わっています。

新しい世界につながる大学生ブランドを大事に

大学生のうちにできることを精いっぱい経験してください。社会人ならではのやりがいや楽しさもたくさんありますが、仕事の事情や制約がついて回ります。自分の興味さえあれば、新しい世界につながる「大学生」ブランドを大事にしてください。

私の場合、報道の仕事に漠然と興味を持ち始めた2年生から、ゼミやアルバイトのつながりから、その道の先輩や仲間とたくさん会っていました。興味を持った福島原発事故をテーマにした卒業研究では、避難された方などに大変お世話

になりました。コロナ禍ゆえ、知り合いの紹介で初対面の方にオンラインでお話を聞かせてもらうなどして卒論を仕上げました。就活では、その方々との出会いをアピールしたことが効いたと今では思います。

会ったことのない人に電話やメールをするのは勇気がいりますが、ぜひ一歩を踏み出してみてください。

記者の仕事も、毎日知らない人に取材します。コロナ禍以前のように一度取材した相手にいつでも会いに行けるわけにはいなくなりました。だからこそ、ふとしたときに連絡して疎遠に

ならないように気をつけています。



共同通信社
湯山 由佳さん YUYAMA Yuka

都市科学部2021年卒。新潟支局を拠点に記者として、主に事件、事故、災害、裁判などをカバーしています。

大学に課外活動団体として届けている団体は、46の体育系団体と55の文化系サークルです。
どの課外活動団体も積極的に活動をしています。

アカペラサークルStairways

https://twitter.com/stair_ways?s=21&t=eHV-ue-UkUh8ZajTDOEgdA



私たち Stairways は、横浜国立大学を中心としながらもフェリス女学院大学など他大学の学生も多数所属するインカレアカペラサークルです。総勢約180名で活動しており、今年で創立20周年となりました！

私たちは、4～6人程度で1つのバンドとして集まり、口で奏でられる音のみで幅広いジャンルの音楽を演奏しています。

アカペラを本気で極めたいサークル員や歌うことをただ楽しみたいというサークル員など、それぞれが様々なモチベーションのもと活動しています。活動の様子を Twitter にて発信していますので、是非ご覧ください！



弓道部

<https://ynukyudobu.wixsite.com/my-site>



弓道部は男子部員23名女子部員9名の総勢32名で活動しており、大会やリーグ戦に向けて日々精進しています。個人戦・団体戦共に力を入れている国大弓道部では、自分自身の射を見つめて射を向上させるだけでなく、他者の射を見て学び、お互いに指導し合うことで、ただ的中させる射だけでなく、美しい射を目指して練習に取り組んでいます。自分の射や精神と向き合う力と、日常的に周囲の部員を注視する力が養えるところもこの弓道部の魅力の1つです。

今年は昨年にも増して力を入れて大会や試合に参加していきます。再び全国の舞台で輝けるよう稽古に励んでいきますので、今後とも皆様のご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



アメリカンフットボール部

<https://mastiffs.jp/>



アメリカンフットボール部は昨年、創部50周年を迎えた記念すべき年に、関東学生1部の最高位リーグ「TOP8」に初昇格を果たしました。

部の誕生は1971年、86～89年に、1部(14校)で活躍。1、2部を上下していましたが、リーグ再編成により2014年から1部下位の「BIG8」に定着。コロナ禍の2021年、特別措置として2ブロックに分けた中で、ブロック1位となり「TOP8」への自動昇格を決めました。

強豪校に仲間入りできた要因は、OB・OG会、後援会などの充実。2021年にはスポンサーの受け皿として法人、チーム内にも諸課題を担当する「マネジメントボード」を組織するなど、若いOB・OGがチームの総合強化に取り組んでいます。

部活ではありますが、努力して成果を出そうとするところに教育的意義があり、2022年秋季リーグの戦いに注目ください。



部活動支援

学生団体表彰

硬式野球部、アカペラサークル Stairways、
アメリカンフットボール部

スポーツ関連設備等整備

体育館アリーナの球技用支柱金具の改修をはじめ
スポーツ関連設備等の整備

令和3年度活動・決算報告

令和3年度事業報告および決算関係書類については、令和4年5月18日(水)に校友会監事3名による監査で、「適切である」との報告を受け、同年5月31日(火)に開催された理事会および評議員会において承認決議されました

令和3年度の主な活動は下記のとおりです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となったため、実施事業のみ掲載。

1. 入学時間関連事業

- 校友会学事暦カレンダーの作製**
学事暦カレンダーを作製し、新入生・在学生の保護者に送付。
- 新入生会員用ノベルティを作製**
新入生会員に入学記念品として贈呈する特性バインダー(ロゴ入り)を作製し、新入生会員に会員証とともに配布。
- 新入生歓迎会の開催**
6月12日(土)学生幹事が中心となり、オンラインにより実施。

2. 広報活動事業

- 校友会会報誌第7号の作製**
校友会会報誌「ALL YNU」第7号を作製し、卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者に送付。
- 入会促進パンフレットの作製**
校友会及び同窓会への入会を促進するためパンフレットを作製し、合格者に送付。
- 校友会業務用情報基盤**
Googleワークスペースライセンスの更新。

3. 学生活動の支援事業

- 学生による地域課題解決支援事業**
学生が自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かうプロジェクトを支援。
20プロジェクトに各20,000円を支援したが、新型コロナウイルス等の影響により、活動の縮小から多くのプロジェクトで未使用が発生した。
- 学部共催講演会**
教育学部では、宇宙飛行士の山崎直子氏をゲストに迎え10月4日に、都市科学部では、社会学者の上野千鶴子氏をゲストに迎え1月19日に、いずれもオンラインによる講演会を実施した。両講演会とも200名を超える参加者があった。
- キャリア教育支援**
 - 「グローバル化と日本人」
異文化理解とコミュニケーション養成を狙いとした全学部対象の教養科目。秋学期にリモートにより実施。
 - 「グローバルビジネス実践論」
海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いの全学部受講対象専門科目。秋学期にリモートにより実施。
- スポーツ支援プロジェクト**
 - 学生団体表彰
令和2年度に顕著な成績を取ったスポーツ団体等2団体に対し副賞(活動奨励費)100,000円を贈呈。(スポーツチャンバラ翔剣会、陸上競技部)
 - 体育館アリーナの球技用支柱金具の改修をはじめとするスポーツ関連設備等の整備をおこなった。
- YNU横浜経営者の会「連携講座」の開催**
YNU横浜経営者の会による連携講座「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」2年次以上を対象に秋学期にリモートにより開講
- 就職活動支援**
 - 7月30日(金)OB・OGによるマスコミ業界向け就活相談会を大学との合同イベントとして、リモートにより実施。
 - 12月18日(金)横浜経営者の会と大学との合同イベントとして、対面による模擬面接会を開催。

正味財産増減計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
【収入の部】			
1. 会費収入			
・新入会員 会費収入	29,920,000	29,200,000	720,000
2. 雑収入			
・寄附収入	0	0	0
・受取利息収入	423	380	43
・その他雑収入	193,865	1,041,465	△ 847,600
雑収入計	194,288	1,041,845	△ 847,557
収入合計(A)	30,114,288	30,241,845	△ 127,557
【費用の部】			
1. 事業費			
・入学時間関連事業	3,051,452	3,812,080	△ 760,628
・広報活動事業	2,377,079	1,629,280	747,799
・学生活動支援事業	4,713,552	2,628,661	2,084,891
・全会員対象事業	2,132,679	1,059,880	1,072,799
・大学支援事業	8,187,270	10,570,440	△ 2,383,170
事業費計	20,462,032	19,700,341	761,691
2. 管理費			
・事務局諸経費	941,398	868,217	73,181
・事務局人件費	4,881,161	4,744,130	137,031
・会員管理費	622,204	801,944	△ 179,740
・減価償却費	0	64,900	△ 64,900
管理費計	6,444,763	6,479,191	△ 34,428
3. 予備費			
・予備費計	63,000	0	63,000
費用合計(B)	26,969,795	26,179,532	790,263
収支差額(A) - (B)	3,144,493	4,062,313	△ 917,820
期首残高	37,696,706	33,634,394	
期末残高	40,841,199	37,696,706	

4. 全会員対象事業

- 横国 Day 事業**
本学卒業生のテレビ朝日アナウンサー、富川悠太氏を招き学長との特別対談を実施。
- 若手OB・OGとの交流会**
学生幹事の企画で準備を進めたが、参加者少数のため中止とした。
- 美術館・博物館キャンパスメンバーズ**
国立美術館(東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館)及び東京国立博物館を学生が無料で利用できるよう年会費を支援。

5. 大学支援事業

- 横浜国立大学基金への寄附**
通常の基金へ4,290,000円の寄附のほか、コロナ過で経済的に困窮している学生への支援のため「緊急学生支援寄附金」へ3,000,000円を寄附し大学を応援。
- 「横浜国立大学基金ご案内とご寄附のお願い」の作製**
大学への寄附を募るパンフレットの作製し、企業、各同窓会、教職員に配布。

6. 予備費

年度途中でSerendip(※)導入が決まったことにより経費を支出した。

(※)「Serendipとは、社会やビジネスのメカニズムから変化の兆しや、歴史、文化、哲学などリベラルアーツの様々なジャンルから話題の最新刊やベストセラー、隠れた名著を厳選し、そのハイライトを10分で読めるダイジェストにして、オンラインで提供するサービス。

※令和4年度横浜国立大学校友会総会のお知らせ

「令和4年度横浜国立大学校友会総会」は、令和4年11月6日(日)に開催を予定しています。

当日は、会員はもちろんのこと、在学生の保護者の皆様もご参加いただけます。

詳細につきましては、校友会ホームページで追ってお知らせします。

横浜国立大学校友会事務局

横浜国立大学校友会 ホームページ・facebookのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です)



▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>



横浜国立大学校友会のFacebookページが開設されました。今後は、・校友会のイベント情報・校友会の活動記録・学生生活の様子などを投稿していく予定です。横浜国立大学の学生から保護者の方々、卒業生や教職員の方々など、多くの方に御覧いただきたく、ページのいいね！をどうぞよろしくお願いいたします。



▶ <https://ja-jp.facebook.com/ynu.connect/>

横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。ご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、
校友会ホームページのグローバルメニュー
「会員サイト」→
右メニュー「サイトへのリンク」を
クリック



※既に会費をお支払いになられている会員(新1年生)につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証及び入会記念品を配布中です。会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しく下さるようお願いします。

横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第8号

2022年8月発行

- 本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- 横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会
連絡先 横浜国立大学校友会事務局
TEL : 045-339-3177
e-mail : koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：常盤台キャンパス中央図書館前

